

(2) 中学校学習指導要領における情報活用能力の育成に関する部分(比較)
 ア 情報の判断、選択、整理、処理能力及び新たな情報の創造、伝達能力

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>第1節 国語</p> <p>第2 各学年の目標及び内容 【第1学年】</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 自分の考えを大切に、目的や場面に於いて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。</p> <p>(3) 様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえよう</u>に話したり、<u>話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。</u></p> <p>イ <u>自分の考えや気持ちを的確に話すためにふさわしい話題を選び出すこと。</u></p> <p>ウ <u>全体と部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりすること。</u></p> <p>エ <u>話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。</u></p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>身近な生活や学習の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめること。</u></p> <p>イ <u>伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。</u></p> <p>ウ <u>自分の考えや気持ちを的確に表すために、適切な材料を選ぶこと。</u></p> <p>エ <u>書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。</u></p> <p>オ <u>書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の集め方などについて自分の表現の参考にする。</u></p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること。</u></p> <p>イ <u>文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。</u></p> <p>ウ <u>文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てること。</u></p> <p>エ <u>文章の展開を確かめながら主題を考えたり要旨をとらえたりすること。</u></p> <p>オ <u>文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広げること。</u></p> <p>カ <u>様々な種類の文章から必要な情報を集めるための読み方を身に付けること。</u></p>	<p>第1節 国語</p> <p>第2 各学年の目標及び内容 【第1学年】</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 自分の考えを大切に話したり文章に書いたりする能力を高めるとともに、より適切な表現を目指し、進んで表現しようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 話や文章の内容を正確に理解する能力を高めるとともに、進んで話を聞き、読書に親しむ態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を高めるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>身近な生活に素材を求め、表現しようとする</u>ことについて<u>自分の考えをまとめること。</u></p> <p>イ <u>自分の考えに基づいて主題や要旨がはっきり分かるように表現すること。</u></p> <p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を高めるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>話や文章の要点と事柄をとらえ、必要に応じて要約すること。</u></p> <p>イ <u>話や文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分の見方や考え方を確かめること。</u></p> <p>ウ <u>話や文章の構成や筋道を正確にとらえ、内容の理解に役立てること。</u></p> <p>エ <u>語句の意味を文脈の中で正確にとらえ、理解すること。</u></p>
<p>【第2学年及び第3学年】</p> <p>1 目標</p> <p>(1) <u>自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に於いて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。</u></p> <p>(2) <u>様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。</u></p> <p>(3) <u>目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。</u></p> <p>2 内容</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。</u></p> <p>イ <u>話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。</u></p> <p>ウ <u>話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。</u></p> <p>エ <u>相手の立場や考えを尊重し、話合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。</u></p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること。</u></p> <p>イ <u>自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。</u></p> <p>ウ <u>文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。</u></p> <p>エ <u>自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。</u></p> <p>オ <u>書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること。</u></p> <p>カ <u>書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てること。</u></p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。</u></p> <p>イ <u>書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。</u></p> <p>ウ <u>表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。</u></p> <p>エ <u>文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。</u></p> <p>オ <u>目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。</u></p>	<p>【第2学年】</p> <p>1 目標</p> <p>(1) <u>ものの見方や考え方を広げ、自分の立場を明らかにして、適切に表現する能力を高めるとともに、表現を工夫しようとする態度を育てる。</u></p> <p>(2) <u>話や文章の内容を正確に理解する能力を高めるとともに、積極的に話を聞き、読書に親しんで自己を豊かにする態度を育てる。</u></p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を高めるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>多くの素材を積極的に求め、表現しようとする</u>ことについて<u>自分の考えを豊かにすること。</u></p> <p>イ <u>自分の考えを深め、立場を明らかにして、主題や要旨がはっきり分かるように表現すること。</u></p> <p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を高めるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>話や文章の展開に即して内容をとらえ、必要に応じて要約すること。</u></p> <p>イ <u>話や文章の内容に含まれているものの見方や考え方を理解し、自分の見方や考え方を広げること。</u></p> <p>ウ <u>話や文章の中心の部分と付加的な部分を区別して、論理的な構成や展開を的確にとらえ、内容の理解に役立てること。</u></p> <p>エ <u>文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりすること。</u></p> <p>【第3学年】</p> <p>1 目標</p> <p>(1) <u>ものの見方や考え方を深め、目的や場面に於いて適切に表現する能力を身に付けさせるとともに、表現することによって生活を向上させようとする態度を育てる。</u></p> <p>(2) <u>目的や場面に於いて話や文章の内容を的確に理解する能力を身に付けさせるとともに、積極的に話を聞き、読書を生活に役立てる態度を育てる。</u></p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を高めるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア <u>広い範囲にわたって素材を求め、表現しようとする</u>ことについて<u>自分の考えを見直したり深めたりすること。</u></p> <p>イ <u>目的や場面に於いて、主題や要旨がはっきり分かるように表現すること。</u></p> <p>ウ <u>目的や場面に於いた表現をするために、効果的な話題や題材を選び出すこと。</u></p> <p>エ <u>意図が相手に伝わるように、根拠を明らかにし、効果的な論理の展開を工夫して表現すること。</u></p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び〔言語事項〕について相互に密接な関連を図るとともに、各学年にふさわしい学習活動を組織して効果的に指導すること。</p> <p>(2) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」に関する指導については、次の事項に留意すること。</p> <p>ア 目的や方向に沿って効果的に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする能力を高めるようにすること。その際、広く話題を求めよう、意図的、計画的に指導する機会を設けること。また、音声言語のための教材を積極的に活用するなどして、指導の効果をも高めるよう工夫すること。</p> <p>イ 指導に当たっては、例えば次のような言語活動を通して行うこと。</p> <p>(7) 説明や発表などを行うこと。</p> <p>(4) 対話や討論などを行うこと。</p> <p>(3) 第2の各学年の内容の「B書くこと」に関する指導については、次の事項に留意すること。</p> <p>ア 相手や目的に応じて効果的な文章を書くことのできる能力を高めるようにすること。その際、様々な形態の文章を書かせるとともに、論理的に書く能力を育てるようにすること。</p> <p>イ 指導に当たっては、例えば次のような言語活動を通して行うこと。</p> <p>(7) 説明や記録などの文章を書くこと。</p> <p>(4) 手紙や感想などの文章を書くこと。</p> <p>(9) 報告や意見発表などのために簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成すること。</p> <p>(4) 第2の各学年の内容の「C読むこと」に関する指導については、次の事項に留意すること。</p> <p>ア 目的や意図に応じて的確に読み取る能力や読書に親しむ態度を育てるようにすること。その際、広く言語文化についての関心を深めるようにしたり、日常生活における読書活動が活発に行われるようにしたりすること。</p> <p>(5) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の言語活動の指導に当たっては、学校図書館などを計画的に利用し、その機能の活用を図るようにすること。</p>	<p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を高めるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 話や文章の展開に即して的確に内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。</p> <p>イ 話や文章に生かされているものの方や考え方を理解し、自分の見方や考え方を深めること。</p> <p>ウ 話し手や書き手の考えの進め方をとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。</p> <p>エ 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 第2の各学年の内容のA、B及び〔言語事項〕について相互に密接な関連を図るとともに、前後の学年間における系統的な関連にも留意し、各学年にふさわしい学習活動を組織して効果的に指導すること。</p> <p>(2) 第2の各学年の内容のAの指導については、論理的な表現の基礎的な能力を高めるようにすること。また、内容のBの指導については、話や文章の展開に即して内容を的確に聞き取ったり読み取ったりする能力を高めるようにすること。</p> <p>(5) 読むことの指導については、読書に対する興味、関心、意欲を高め、読書力を育て、日常生活における読書活動が活発に行われるようにすること。</p> <p>3 教材は、生徒の心身の発達段階に即して適切な話題や題材を精選して取り上げるものとする。その際には、表現力と理解力とを偏りなく養うことをねらいとしながら、次のような観点に配慮する必要がある。</p> <p>(1) 国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。</p> <p>(2) 思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするのに役立つこと。</p> <p>(3) 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。</p> <p>(4) 科学的、論理的な見方や考え方を養い、視野を広げるのに役立つこと。</p> <p>(5) 人生について考えを深め、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意志を育てるのに役立つこと。</p> <p>(6) 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。</p> <p>(7) 我が国の文化と伝統に対する関心や理解を深め、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。</p>
<p>第2節 社会</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔地理的分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(2) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 地理的な見方や考え方や地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう系統性に留意して計画的に指導すること。また、地域に関する情報の収集、処理に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用するなどの工夫をすること。</p> <p>〔歴史的分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p> <p>〔公民的分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>(4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>2 指導の全般にわたって、資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図るようにする。その際、地図や年表を読みかたつ作成すること、新聞、読み物、統計その他の資料に平素から親しみ適切に活用すること、観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめ、発表することなどの活動を取り入れるようにする。また、資料の収集、処理や発表などに当たっては、コンピュータや情報通信ネットワーク、教育機器の活用を促すようにする。</p>	<p>第2節 社会</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔地理的分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>(5) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断する能力と態度を育てる。</p> <p>〔歴史的分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>(5) 具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多角的に考察し公正に判断する能力と態度を育てる。</p> <p>〔公民的分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>(4) 社会的事象を確実な資料に基づいて様々な角度から考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する能力と態度を育てる。</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>2 指導の全般にわたって、資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習を取り入れるよう配慮するものとする。そのため、地図や年表を読みかたつ作成すること、新聞、読み物、統計その他の資料に平素から親しみ適切に活用すること、観察や調査等の結果を整理し報告書にまとめることなどの活動を取り入れるようにする。</p>
<p>第3節 数学</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し、処理できるようにする。</p> <p>(2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培う。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し考察する基礎を培う。</p>	<p>第3節 数学</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し、処理できるようにする。</p> <p>(2) 平面図形や空間図形についての操作や実験などを通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培う。</p> <p>(3) 変化や対応についての見方や考え方を深め、関数関係を理解し、それを表現したり用いたりする能力を伸ばす。</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>〔第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。</p> <p>(2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、<u>関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。また、具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。</u></p> <p>2 内容</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、<u>関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。</u></p> <p>(2) 具体的な事象についての観察や実験を通して、確率について理解する。 ア 起こり得る場合を順序よく整理することができること。 イ 不確かな事象が起こり得る程度を表す確率の意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができること。</p> <p>〔第3学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(2) 図形の相似や三平方の定理について、観察、操作や実験を通して理解し、<u>それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。</u></p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、<u>関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。</u></p> <p>2 内容</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、<u>関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。</u></p>	<p>〔第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 文字を用いた式を目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、一次不等式や連立方程式について理解し、それらを用いる能力を養う。</p> <p>(2) 基本的な平面図形の性質についての理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。</p> <p>(3) <u>変化や対応についての見方や考え方を一層深め、一次関数の特徴を理解し、それを用いる能力を養う。また、目的に応じて数え的確に表現したり、統計的な事象の傾向をとらえることができるようにする。</u></p> <p>2 内容</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 数の表現についての理解を深めるとともに、<u>実際の場面で数を適切に用いることができるようにする。</u></p> <p>(3) <u>目的に応じて資料を収集し、それを表、グラフなどを用いて整理し、代表値、資料の散らばりなどに着目してその資料の傾向を知ることができるようにする。</u></p> <p>〔第3学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) <u>関数関係を表現したり用いたりする能力を一層伸ばし、関数の特徴を調べ、関数についての理解を深める。また、確率の意味や標本調査の基本になる事柄を理解し、統計に対する見方や考え方を深める。</u></p> <p>2 内容</p> <p>C 数量関係</p> <p>(3) <u>標本のもつ傾向から母集団のもつ傾向について判断できることを理解する。</u></p>
<p>第4節 理科</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>4 各分野の指導に当たっては、<u>観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用するよう配慮するものとする。</u></p>	<p>第4節 理科</p> <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>4 各分野の指導に当たっては、<u>観察、実験の過程での情報の検索、実験データの処理、実験の計測などにおいて、必要に応じ、コンピュータ等を効果的に活用するよう配慮するものとする。</u></p>
<p>第6節 美術</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(2) デザインや工芸などに表現する活動を通して、次のことができるよう指導する。</p> <p>イ 用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから発想し構想を練り、つくり方、意図に応じた材料や用具の生かし方などの基礎的技能を身に付け、造形感覚を働かせ創意工夫してつくること。</p> <p>ウ <u>伝えたい内容を図や写真・ビデオ・コンピュータ等映像メディアなどで、効果的で美しく表現し伝達・交流すること。</u></p> <p>〔第2学年及び第3学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 絵や彫刻などに表現する活動を通して、次のことができるよう指導する。 エ 表したい内容を漫画やイラストレーション、写真・ビデオ・コンピュータ等映像メディアなどで表現すること。</p> <p>(2) デザインや工芸などに表現する活動を通して、次のことができるよう指導する。 ア デザインの効果を考え、形や色彩、図柄、材料、光などの構成を簡潔にしたり総合化したり、取り合わせを工夫するなどして、美しく心豊かなデザインをすること。 イ 使用する者の気持ちや機能、夢や想像などから独創的に発想し、造形的な美しさ、材料や用具の生かし方などを総合的に考え、創意工夫してつくること。 ウ <u>伝えたい内容をイラストレーションや図、写真・ビデオ・コンピュータ等映像メディアなどで、分かりやすく美しく表現し、発表したり交流したりすること。</u> エ 身近な環境について、安らぎや自然との共生などの視点から心豊かなデザインをすること。</p>	<p>第6節 美術</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(3) <u>デザインの表現を通して、次の事項を指導する。</u> ア 自然物や人工物の形や色の特徴又は抽象形を基に、配色などを工夫して構成をすること。 イ 身近な環境について、造形的に美しく整えるデザインの構想を練ること。 ウ <u>伝える目的や条件を考え、伝える内容を形や色で効果的に美しく表すデザインの構想を練ること。</u> エ 表現意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、工夫して表すこと。</p> <p>〔第2学年及び第3学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(3) <u>デザインの表現を通して、次の事項を指導する。</u> ア 形や色、材質の機能的な生かし方などを考え、それらを総合的に扱い、美的秩序を意図して構成をすること。 イ 身近な環境について、形や色の生かし方、機能などを考え、美しく整えるデザインの構想を練ること。 ウ <u>伝える目的や条件について理解し、伝える内容を明瞭に美しく表すデザインの構想を練ること。</u> エ 表現意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、表現の方法を選び、工夫して表すこと。</p>
<p>第8節 技術・家庭</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔技術分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、<u>技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</u></p> <p>2 内容</p> <p>B 情報とコンピュータ</p> <p>(1) 生活や産業の中で情報手段の果たしている役割について、次の事項を指導する。 ア 情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかわりについて知ること。</p>	<p>第8節 技術・家庭</p> <p>第2 各領域の目標及び内容</p> <p>F 情報基礎</p> <p>1 目標</p> <p>コンピュータの操作等を通して、その役割と機能について理解させ、<u>情報を適切に活用する基礎的な能力を養う。</u></p> <p>2 内容</p> <p>(1) コンピュータの仕組みについて、次の事項を指導する。 ア コンピュータシステムの基本的な構成と各部の機能を知ること。 イ ソフトウェアの機能を知ること。 (2) コンピュータの基本操作と簡単なプログラムの作成について、次の事項を指導する。</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>イ 情報化が社会や生活に及ぼす影響を知り、情報モラルの必要性について考えること。</p> <p>(2) コンピュータの基本的な構成と機能及び操作について、次の事項を指導する。</p> <p>ア コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作ができること。</p> <p>イ ソフトウェアの機能を知ること。</p> <p>(3) コンピュータの利用について、次の事項を指導する。</p> <p>ア コンピュータの利用形態を知ること。</p> <p>イ ソフトウェアを用いて、基本的な情報の処理ができること。</p> <p>(4) 情報通信ネットワークについて、次の事項を指導する。</p> <p>ア 情報の伝達方法の特徴と利用方法を知ること。</p> <p>イ 情報を収集、判断、処理し、発信ができること。</p> <p>(5) コンピュータを利用したマルチメディアの活用について、次の事項を指導する。</p> <p>ア マルチメディアの特徴と利用方法を知ること。</p> <p>イ ソフトウェアを選択して、表現や発信ができること。</p> <p>(6) プログラムと計測・制御について、次の事項を指導する。</p> <p>ア プログラムの機能を知り、簡単なプログラムの作成ができること。</p> <p>イ コンピュータを用いて、簡単な計測・制御ができること。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(2) 内容の「B 情報とコンピュータ」については、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>ア (1) のアについては、身近な事例を通して情報手段の発展についても簡単に扱うこと。(1) のイについては、インターネット等の例を通して、個人情報や著作権の保護及び発信した情報に対する責任について扱うこと。</p> <p>イ (3) のイについては、生徒の実態を考慮し文書処理、データベース処理、表計算処理、図形処理等の中から選択して取り上げること。</p> <p>ウ (4) については、コンピュータを利用したネットワークについて扱うこと。</p>	<p>ア コンピュータの基本操作ができること。</p> <p>イ プログラムの機能を知り、簡単なプログラムの作成ができること。</p> <p>(3) コンピュータの利用について、次の事項を指導する。</p> <p>ア ソフトウェアを用いて、情報を活用することができること。</p> <p>イ コンピュータの利用分野を知ること。</p> <p>(4) 日常生活や産業の中で情報やコンピュータが果たしている役割と影響について考えさせる。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(1) 内容の(1) のアについては、入力、演算、制御、記憶及び出力を取り上げるものとする。</p> <p>(2) 内容の(3) のアについては、日本語ワードプロセッサ、データベース、表計算、図形処理などのソフトウェアを取り上げ、情報の選択、整理、処理、表現などを行わせるものとする。</p>
<p>第9節 外国語</p> <p>第1 目標</p> <p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。</p> <p>第2 各言語の目標及び内容等</p> <p>英語</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 英語を聞くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。</p> <p>(2) 英語で話すことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようになる。</p> <p>(3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。</p> <p>(4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようになる。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>ア 聞くこと</p> <p>主として次の事項について指導する。</p> <p>(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ること。</p> <p>(ロ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。</p> <p>(ハ) 話し手に聞き返すなどして内容を正しく理解すること。</p> <p>イ 話すこと</p> <p>主として次の事項について指導する。</p> <p>(イ) 自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わるように話すこと。</p> <p>(ロ) 聞いたり読んだりしたことについて、問答したり意見を述べ合ったりすること。</p> <p>(ハ) つなぎ言葉を用いるなどいろいろな工夫をして話が長くように話すこと。</p> <p>ウ 読むこと</p> <p>主として次の事項について指導する。</p> <p>(イ) 書かれた内容を考えながら熟読したり、その内容が表現されるように音読すること。</p> <p>(ロ) 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。</p> <p>(ハ) 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること。</p> <p>エ 書くこと</p> <p>主として次の事項について指導する。</p> <p>(イ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想や意見などを書いたりすること。</p> <p>(ロ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。</p> <p>(ハ) 伝言や手紙などで読み手に自分の意向が正しく伝わるように書くこと。</p>	<p>第9節 外国語</p> <p>第1 目標</p> <p>外国語を理解し、外国語で表現する基礎的な能力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を培う。</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>英語</p> <p>〔第1学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 身近で簡単なことについて話される初歩的な英語を聞いて理解できるようにするとともに、英語を聞くことに親しみ、英語を聞いて理解することに対する興味を育てる。</p> <p>(2) 初歩的な英語を用いて、身近で簡単なことについて話すことができるようにするとともに、英語で話すことに親しみ、英語で話すことに対する興味を育てる。</p> <p>(3) 身近で簡単なことについて書かれた初歩的な英語を読んで理解できるようにするとともに、英語を読むことに親しみ、英語を読んで理解することに対する興味を育てる。</p> <p>(4) 初歩的な英語を用いて、身近で簡単なことについて書くことができるようにするとともに、英語で書くことに親しみ、英語で書くことに対する興味を育てる。</p> <p>〔第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 初歩的な英語の文や文章を聞いて、話し手の意向などを理解できるようにするとともに、英語を聞くことに慣れ、英語を聞いて理解しようとする意欲を育てる。</p> <p>(2) 初歩的な英語の文や文章を用いて、自分の考えなどを話すことができるようにするとともに、英語で話すことに慣れ、英語で話そうとする意欲を育てる。</p> <p>(3) 初歩的な英語の文や文章を読んで、書き手の意向などを理解できるようにするとともに、英語を読むことに慣れ、英語を読んで理解しようとする意欲を育てる。</p> <p>(4) 初歩的な英語の文や文章を用いて、自分の考えなどを書くことができるようにするとともに、英語で書くことに慣れ、英語で書こうとする意欲を育てる。</p> <p>〔第3学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 初歩的な英語の文章を聞いて、話し手の意向などを理解できるようにするとともに、英語を聞くことに習熟し、英語を聞いて理解しようとする積極的な態度を育てる。</p> <p>(2) 初歩的な英語の文章を用いて、自分の考えなどを話すことができるようにするとともに、英語で話すことに習熟し、英語で話そうとする積極的な態度を育てる。</p> <p>(3) 初歩的な英語の文章を読んで、書き手の意向などを理解できるようにするとともに、英語を読むことに習熟し、英語を読んで理解しようとする積極的な態度を育てる。</p> <p>(4) 初歩的な英語の文章を用いて、自分の考えなどを書くことができるようにするとともに、英語で書くことに習熟し、英語で書こうとする積極的な態度を育てる。</p>
<p>第4章 特別活動</p> <p>第1 目標</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p> <p>第2 内容</p> <p>A 学級活動</p> <p>学級活動においては、学級を単位として、学級や学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。</p> <p>学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上など</p> <p>(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること。</p> <p>ア 青年期の不安や悩みとその解決、自己及び他者の個性の理解と尊重、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解など</p>	<p>第4章 特別活動</p> <p>第1 目標</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p> <p>第2 内容</p> <p>A 学級活動</p> <p>学級活動においては、学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。</p> <p>学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理など。</p> <p>(2) 個人及び社会の一員としての在り方、学業生活の充実及び健康や安全に関すること。</p> <p>ア 青年期の理解、自己の個性の理解、個人的な不安や悩みの解消、健全な生き方の探究、望ましい人間関係の確立など</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>イ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への適応、学校給食と望ましい食習慣の形成など</p> <p>(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。 学ぶことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、選択教科等の適切な選択、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい職業観・勤労観の形成、主体的な進路の選択と将来設計など</p>	<p>イ 自主的な学習の意欲や態度の形成、選択教科等の適切な選択、学校図書館の利用、情報の適切な活用など</p> <p>ウ 健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への適応、学校給食など</p> <p>(3) 将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。 進路適性の吟味、進路情報の理解と活用、望ましい職業観の形成、将来の生活の設計、適切な進路の選択など</p>
<p>第1章 総 則</p> <p>第4 総合的な学習の時間の取扱い</p> <p>- 小学校学習指導要領に同じ -</p>	

イ 情報化社会の特質、情報化の社会や人間に対する影響の理解
情報の重要性の認識、情報に対する責任感

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>新学習指導要領</p> <p>第2節 社会</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔地理的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 世界と比べて見た日本</p> <p>ア 様々な面からとらえた日本 世界的視野から見た日本の地域的特色と日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を追究し、我が国の国土の特色を様々な面から大観させるとともに、地域の規模に応じて、また、地域間を比較し関連付けて、地域的特色を明らかにする視点や方法を身に付けさせる。</p> <p>(4) 地域間の結び付きから見た日本の地域的特色 世界的視野から見て、日本は国際間の交通・通信網の整備が進んでいること、世界の各地と強く結び付いていること、結び付きの深さや内容は相手の国や地域によって特色がみられることを理解させるとともに、国内でも交通・通信網の整備が進んでいること、各地の時間的な距離や位置の関係が大きく変化しつつあること、人や物資の移動には地域的特色がみられること、各地域の特色は他地域との結び付きの影響を受けながら変化していることを大観させる。</p> <p>〔公民的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 現代社会と私たちの生活</p> <p>ア 現代日本の歩みと私たちの生活 現代日本の発展の過程と国際化の進展のあらましについて理解させるとともに、現代社会の特色に気付かせる。その際、高度経済成長から今日までの我が国や国際社会の変容について、国民生活と関連させて理解させるとともに、国際社会における我が国の役割について考えさせる。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(2) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>(9) 「現代日本の発展の過程」については、科学技術の発展や経済成長を通しての国民生活の変化、特に衣食住や生活意識の変化に着目させて理解させるとともに、職業や余暇生活の多様化、情報化の進展などが社会生活に与えた影響について気付かせること。</p>	<p>現行学習指導要領</p> <p>第2節 社会</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔地理的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 国際社会における日本 日本や世界の諸地域の学習成果を生かして広い視野から日本と世界との結び付きを見直し、現代世界を構成する一つの地域としての日本の特色や役割などについて考えさせる。</p> <p>ア 日本と世界の結び付き 交通、貿易、情報や文化の交流、人々の移動、海外援助など日本と世界の結び付きに関する事項のうち幾つかを日本全体及び世界の諸地域の地域的特色と関連付けて取り上げ、国際社会の中で果たしている日本の役割や国際協力の重要性などについて考えさせる。</p> <p>〔公民的分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 現代の社会生活</p> <p>ウ 情報と社会 情報の増大及びその動きが社会生活を変化させていることを理解させ、情報と人間とのかかわりについて考えさせる。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(2) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>ウ ウについては、マス・メディアなどの発達や動きを取り上げ、情報の重要性及びその適切な活用についても考えさせるように留意すること。</p>
<p>第7節 保健体育</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔保健分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。</p> <p>イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要なこと。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、健康を損なう原因となること。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(7) 内容の(4)のイについては、必要に応じて、コンピュータなどの情報機器の使用と健康とのかかわりについて取り扱うことも配慮するものとする。</p>	<p>第7節 保健体育</p> <p>〔保健分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(5) 健康と生活について理解させる。</p> <p>ウ 学習、運動、作業などの活動は、疲労をもたらすが、それは適切な休養などによって回復を図ることができること。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(6) 内容の(5)のウについては、必要に応じて、コンピュータ等の情報機器を使用する場合の影響について取り上げることも配慮するものとする。</p>
<p>第8節 技術・家庭</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔技術分野〕</p> <p>1 目標 実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>B 情報とコンピュータ</p> <p>(1) 生活や産業の中で情報手段の果たしている役割について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわりについて知ること。 イ 情報化が社会や生活に及ぼす影響を知り、情報モラルの必要性について考えること。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(2) 内容の「B情報とコンピュータ」については、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>ア (1)のイについては、身近な事例を通して情報手段の発展についても簡単に扱うこと。(1)のイについては、インターネット等の例を通して、個人情報や著作権の保護及び発信した情報に対する責任について扱うこと。</p>	<p>第8節 技術・家庭</p> <p>第2 各領域の目標及び内容</p> <p>F 情報基礎</p> <p>1 目標 コンピュータの操作等を通して、その役割と機能について理解させ、情報を適切に活用する基礎的な能力を養う。</p> <p>2 内容</p> <p>(3) コンピュータの利用について、次の事項を指導する。</p> <p>イ コンピュータの利用分野を知ること。</p> <p>(4) 日常生活や産業の中で情報やコンピュータが果たしている役割と影響について考えさせる。</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>第3章 道徳</p> <p>第2 内容</p> <p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。</p> <p>(2) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、<u>自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。</u></p>	<p>第3章 道徳</p> <p>第2 内容</p> <p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。</p> <p>(2) 法の精神を理解し、<u>自他の権利を重んじ義務を確実に履行するとともに、公德心をもって社会の秩序と規律を高めていくように努める。</u></p>
<p>第4章 特別活動</p> <p>第2 内容</p> <p>A 学級活動</p> <p>学級活動においては、学級を単位として、学級や学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(2) 個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること。</p> <p>ア 青年期の不安や悩みとその解決、自己及び他者の個性の理解と尊重、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解など</p> <p>(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。</p> <p>学ぶことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、選択教科等の適切な選択、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい職業観・勤労観の形成、主体的な進路の選択と将来設計など</p>	<p>第4章 特別活動</p> <p>第2 内容</p> <p>A 学級活動</p> <p>学級活動においては、学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(2) 個人及び社会の一員としての在り方、学業生活の充実及び健康や安全に関すること。</p> <p>イ 自主的な学習の意欲や態度の形成、<u>選択教科等の適切な選択、学校図書館の利用、情報の適切な活用など</u></p> <p>(3) <u>将来の生き方と進路の適切な選択に関すること、進路適性の吟味、進路情報の理解と活用、望ましい職業観の形成、将来の生活の設計、適切な進路の選択など</u></p>

Ⅱ 情報科学の基礎及び情報手段（特にコンピュータ）の特徴の理解、基本的な操作能力の習得

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>第3節 数学</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔第2学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、<u>関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。また、具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。</u></p> <p>2 内容</p> <p>A 数と式</p> <p>(1) 事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現し活用する能力を伸ばすとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようになる。</p> <p>イ 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用できることを理解すること。</p> <p>ウ 目的に応じて、簡単な式を变形できること。</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、<u>関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。</u></p> <p>ア 事象の中には一次関数を用いてとらえられるものがあることを知ること。</p> <p>イ 一次関数のとる値の変化の割合とグラフの特徴を理解するとともに、一次関数を利用できること。</p> <p>ウ 二元一次方程式を関数を表す式とみることができること。</p> <p>(2) 具体的な事象についての観察や実験を通して、確率について理解する。</p> <p>ア 起こり得る場合を順序よく整理することができること。</p> <p>イ 不確定な事象が起こり得る程度を表す確率の意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができること。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(5) 内容の「C数量関係」の(2)のイについては、<u>起こり得るすべての場合を樹形図などを利用して簡単に求めることができる程度の事象を取り上げるものとする。</u></p>	<p>第3節 数学</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第2学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 数と式</p> <p>(3) <u>不等式の意味を理解し、一元一次不等式を用いることができるようにする。</u></p> <p>ア 不等式とその解の意味</p> <p>イ 不等式の性質</p> <p>ウ 一元一次不等式を解くこと。</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) <u>数の表現についての理解を深めるとともに、実際の場面で数を適切に用いることができるようにする。</u></p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(1) 内容のAの(3)などに関連して、<u>計算の手順などを流れ図などに表すことを取り上げるものとする。</u></p> <p>(4) <u>内容のCの(1)については、2進法などの記数法、$a \times 10^n$の形表現を取り上げるものとする。</u></p>
<p>第4節 理科</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔第1分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(7) 科学技術と人間</p> <p>エネルギー資源の利用と環境保全との関連や科学技術の利用と人間生活とのかかわりについて認識を深めるとともに、日常生活と関連付けて科学的に考える態度を養う。</p> <p>イ 科学技術と人間</p> <p>(7) 科学技術の進歩による成果として新素材などの利用が行われ、日常生活が豊かで便利になったことを知るとともに、<u>環境との調和を図りながら科学技術を発展させていく必要があることを認識すること。</u></p>	<p>第4節 理科</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔第1分野〕</p> <p>2 内容</p> <p>(6) 運動とエネルギー</p> <p>エ 科学技術の進歩と人間生活</p> <p>(7) 日常生活では、<u>科学技術の成果として様々な素材やエネルギーが利用されていることを知ること。</u></p> <p>(1) <u>情報手段としてのコンピュータなどについて、その発展の過程を知ることを。</u></p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>カ <u>エの(1)については、コンピュータの素子の発展の過程を取り上げる程度とすること。</u></p>
<p>第8節 技術・家庭</p> <p>第2 各分野の目標及び内容</p> <p>〔技術分野〕</p> <p>1 目標</p> <p>実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、<u>技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</u></p> <p>2 内容</p> <p>B 情報とコンピュータ</p>	<p>第8節 技術・家庭</p> <p>第2 各領域の目標及び内容</p> <p>F 情報基礎</p> <p>1 目標</p> <p><u>コンピュータの操作等を通して、その役割と機能について理解させ、情報を適切に活用する基礎的な能力を養う。</u></p> <p>2 内容</p> <p>(1) <u>コンピュータの仕組みについて、次の事項を指導する。</u></p> <p>ア <u>コンピュータシステムの基本的な構成と各部の機能を知ること。</u></p> <p>イ <u>ソフトウェアの機能を知ること。</u></p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>(2) <u>コンピュータの基本的な構成と機能及び操作について、次の事項を指導する。</u> ア <u>コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作ができること。</u> イ <u>ソフトウェアの機能を知ること。</u></p> <p>(3) <u>コンピュータの利用について、次の事項を指導する。</u> ア <u>コンピュータの利用形態を知ること。</u> イ <u>ソフトウェアを用いて、基本的な情報の処理ができること。</u></p> <p>(4) <u>情報通信ネットワークについて、次の事項を指導する。</u> ア <u>情報の伝達方法の特徴と利用方法を知ること。</u> イ <u>情報を収集、判断、処理し、発信ができること。</u></p> <p>(5) <u>コンピュータを利用したマルチメディアの活用について、次の事項を指導する。</u> ア <u>マルチメディアの特徴と利用方法を知ること。</u> イ <u>ソフトウェアを選択して、表現や発信ができること。</u></p> <p>(6) <u>プログラムと計測・制御について、次の事項を指導する。</u> ア <u>プログラムの機能を知り、簡単なプログラムの作成ができること。</u> イ <u>コンピュータを用いて、簡単な計測・制御ができること。</u></p>	<p>(2) <u>コンピュータの基本操作と簡単なプログラムの作成について、次の事項を指導する。</u> ア <u>コンピュータの基本操作ができること。</u> イ <u>プログラムの機能を知り、簡単なプログラムの作成ができること。</u></p> <p>(3) <u>コンピュータの利用について、次の事項を指導する。</u> ア <u>ソフトウェアを用いて、情報を活用することができること。</u> イ <u>コンピュータの利用分野を知ること。</u></p> <p>(4) <u>日常生活や産業の中で情報やコンピュータが果たしている役割と影響について考えさせる。</u></p> <p>3 内容の取扱い (1) <u>内容の(1)のイについては、入力、演算、制御、記憶及び出力を取り上げるものとする。</u> (2) <u>内容の(3)のイについては、日本語ワードプロセッサ、データベース、表計算、図形処理などのソフトウェアを取り上げ、情報の選択、整理、処理、表現などを行わせるものとする。</u></p>